



## CHAPTER

# 6

## SCA Reporter の CLI

この章では、Cisco Service Control Application Reporter (SCA Reporter) の CLI (コマンドラインインターフェイス) を使用して SCA Reporter 機能を実行するさまざまな方法 (構文、スイッチ、アプリケーションのオプションなど) について説明します。

- [CLI の概要 \(p.6-1\)](#)
- [レポートのスケジューリング \(p.6-1\)](#)
- [構文と使用法 \(p.6-2\)](#)

### CLI の概要

SCA Reporter の CLI (コマンドラインインターフェイス) はコマンドラインアプリケーションであり、SCA Reporter GUI の機能を補足するものです。CLI は、SCA Reporter の GUI よりも高機能で柔軟であり、サードパーティ製アプリケーションに統合して使用量ベースの出力および統計ベースの出力を生成できます。

CLI は、次の機能を備えています。

- Windows または Linux 環境で実行できます。
- 定義済みのレポート インスタンスを実行したり、レポート テンプレートを使用したりできます。
- レポートを定期的に生成するようにスケジューリングできます。

### レポートのスケジューリング

Reporter CLI を使用すると、選択したレポートを定期的に生成できます。これを行うには、外部のスケジューリングユーティリティ (cron、PyCron、Windows スケジューラなど) を設定する必要があります。次の項で説明するとおり、既存のレポート インスタンス、またはレポート テンプレートを使用できます。

次に示すのは、1 時間ごとに「Global Bandwidth per Service」レポートを生成する cron 行の例です。

```
20 * * * * reportercmd -report "Global Bandwidth per Service #1" -params \
  "numhours=24;units=Mbit/s;avgdata=true;trafficdir=Both Directions" \
  -format jpeg -o GBpS1.jpeg
```

## 構文と使用法

SCA Reporter をコマンドライン バージョンとして実行し、入力をパラメータとして渡すことができます。テンプレート ビューでは、レポート インスタンスまたはレポート テンプレートのいずれから CLI コマンドを作成できます。データベース情報および SCE プラットフォームの IP パラメータは、作成された CLI コマンドに設定済みパラメータとともに組み込まれます。

コマンドを作成すると、そのコマンドは自動的にクリップボードにコピーされるので、コマンド ファイル シェルまたはコマンド プロンプトに貼り付け、必要な変更を加えてから実行できます。データを保存するためのファイル名と形式を追加する必要があります。これらのパラメータは、コマンド作成時には含まれていません。

元のレポート インスタンスに存在するすべてのパラメータが、`params` スイッチに組み込まれるわけではありません。パラメータが CLI 呼び出しで具体的にリストされていないときは、次のようになります。

- コマンドがレポート インスタンスに基づいている場合、その値はレポート インスタンスから取得されます。
- コマンドがレポート テンプレートに基づいている場合は、デフォルト値が使用されます（デフォルト値のない必須パラメータの値は定義する必要があります）。

## コマンドラインの使用法

SCA Reporter アプリケーションは、次のようなコマンドを使用して呼び出すことができます。

```
reportercmd -report "Global Bandwidth per Service
#1"-dbdriver "com.mysql.jdbc.Driver"-dburl "jdbc:mysql://127.0.0.1:3306/apricot"
-dbuser "pqb_admin"-dbpassword "pqb_admin"-policy sce
"10.1.12.85"-params "numhours=240000000;seip=10.1.12.85;avgdata=true;link=Link 0,Link
1,traficdir=Both Directions;services= Messaging Service,Generic UDP Service,Generic TCP
Service,News Service,FTP Service,Browsing Service,Default Service"-o "myfile"-format
"jpeg"
```

SCA Reporter から CLI コマンドの基礎となる文字列を生成できます。生成されたコマンドには、`-o` パラメータや `-format` パラメータは含まれていません。これらはコマンドに追加する必要があります。その他のパラメータを修正することもできます。

## コマンドラインスイッチ

SCA Reporter アプリケーションを呼び出す際、コマンドラインに次のスイッチを含めることができます。

- `-report`
  - `-dbdriver`
  - `-dburl`
  - `-dbuser`
  - `-dbpassword`
  - `-policy sce`
  - `-params`
  - `-o`
  - `-format`
  - `-show`
- `-template`
  - `-dbdriver`
  - `-dburl`
  - `-dbuser`

- *-dbpassword*
- *-pollicysce*
- *-params*
- *-o*
- *-format*
- *-show*
- *-help*
- *-list*

## コマンドラインオプション

SCA Reporter アプリケーションを呼び出すコマンドラインのオプションについて、次の表で説明します。

表 6-1 SCA Reporter アプリケーションのコマンドラインオプション

オプション	SCA Reporter による処理	説明
<i>-report" report-name"</i>	指定された名前のレポートインスタンスを使用して、レポートを生成します。	このパラメータは、既存のレポートインスタンスからレポートを生成するときに使用します。
<i>-template" template-name"</i>	指定された名前のレポートテンプレートを使用して、レポートを生成します。	このパラメータは、テンプレートからレポートを生成するときに使用します。
<i>-dbdriver" db-driver"</i>	データベースのドライバ	SCA Reporter で設定されているものと同じデータベース
<i>-dburl" db-url"</i>	データベースの URL	
<i>-dbuser" db-user"</i>	データベースのユーザ	
<i>-dbpassword" db-password"</i>	データベースのパスワード	
<i>-pollicysce" IP of SCE for policy data"</i>	サービスコンフィギュレーションデータがレポートで使用される SCE プラットフォームの IP アドレス	SCA Reporter で設定されている SCE プラットフォームの IP アドレス
<i>-params" param1=value1;..."</i>	プロパティ ビューからのパラメータ	特定パラメータを指定しない場合は、デフォルト値が使用されます。
<i>-o" filename"</i>	出力を保存するファイルの名前	そのファイル名がすでに存在する場合、元のファイルは上書きされます。
<i>-format" fileformat"</i>	レポートをグラフとして出力するか、表として出力するかを指定します。fileformat パラメータには、次の値のいずれかを指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>jpeg</i></li> <li>• <i>csv</i></li> </ul>	
<i>-show</i>	実行せずに、レポートまたはテンプレートの構造(パラメータを含む)を表示します。	

表 6-1 SCA Reporter アプリケーションのコマンドラインオプション（続き）

オプション	SCA Reporter による処理	説明
<code>-help</code>		
<code>-list</code>	すべてのテンプレート グループとレポート テンプレートの一覧を出力します。	

## レポート インスタンスでの Reporter コマンドの生成方法

### 手順概要

- テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。
- タブのドロップダウンメニューから [Show Cmd] を選択します。
- [OK] をクリックします。
- 次のうちいずれかを実行します。
- クリップボードの内容を貼り付けます。
- 次の必須フラグを追加します。
- パラメータを変更します。たとえば numhours パラメータを変更できます。
- コマンドを実行します。

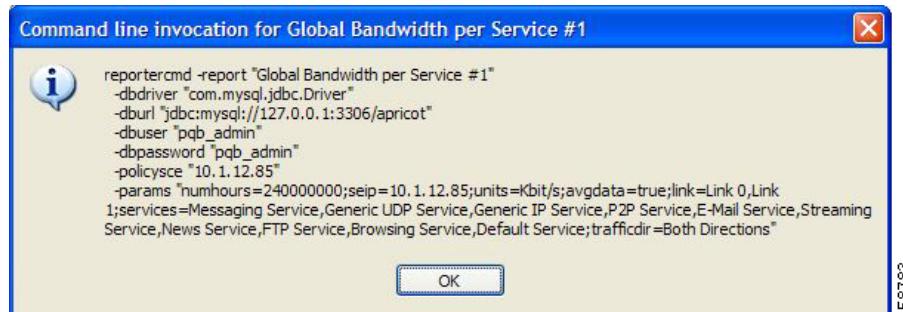
### 手順詳細

**ステップ 1** テンプレート ビューからレポート インスタンスを選択します。

**ステップ 2** タブのドロップダウンメニューから [Show Cmd] を選択します。

コマンドライン呼び出しダイアログボックスが表示され、生成されたコマンドが表示されます。

図 6-1



**ステップ 3** [OK] をクリックします。

コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

**ステップ4** 次のうちいづれかを実行します。

- シェルからコマンドを実行するファイルを開き、Reporter ディレクトリにファイルを保存します。
- CLI コマンドを実行するコマンドプロンプトを開き、ディレクトリを Reporter ディレクトリに変更します。

**ステップ5** クリップボードの内容を貼り付けます。

ファイルまたはコマンドラインにコマンドが貼り付けられます。

**ステップ6** 次の必須フラグを追加します。

- **-o "filename"**
- **-format "fileformat"**

**ステップ7** パラメータを変更します。たとえば numhours パラメータを変更できます。

図 6-2

```
C:\Windows\system32\cmd.exe - cmd -report "Global BW per Serv" -dbdriver "com.mysql.jdbc.Driver" -dburl "jdbc:mysql://127.0.0.1:3306/apricot" -dbuser "pqb_admin" -dbpassword "pqb_admin" -policyse "10.1.12.85" -params "numhours=24000009;seip=10.1.12.85;augdata=true;link=Link 0,Link 1;trafficdir=Both Directions;services=Messaging Service,Generic UDP Service,Generic IP Service,P2P Service,E-Mail Service,Streaming Service,Generic TCP Service,News Service,FTP Service,Browsing Service,Default Service" -o "C:/program files/myfile" -j jpg
<C> Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\Program Files\Cisco SCAS\SCAS Reporter 3.0.0.5>
```

**ステップ8** コマンドを実行します。

エクスポートされたファイルが定義済みディレクトリに保存され、レポートインスタンス名にタイムスタンプが付きます。

## レポート テンプレートでの Reporter コマンドの生成方法

### 手順概要

1. テンプレート ビューからレポートインスタンスを選択します。
2. タブのドロップダウンメニューから [Show Cmd] を選択します。
3. [OK] をクリックします。
4. 以前の手順のステップ 5 以降を実行します。

## 手順詳細

**ステップ1** テンプレートビューからレポートインスタンスを選択します。

**ステップ2** タブのドロップダウンメニューから [Show Cmd] を選択します。

図 6-3



コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

デフォルト値があるパラメータには、デフォルト値が付与されます。デフォルト値のない必須パラメータは、  （下線）の値で示されます。

**ステップ3** [OK] をクリックします。

コマンドおよびすべてのスイッチとパラメータがクリップボードに配置されます。

**ステップ4** 以前の手順のステップ5以降を実行します。